

第5回 千葉県少年野球秋季女子大会【ナガセ・トップ杯】



2020年 10月24日(土)・25日(日)

- ・袖ヶ浦 平岡公民館野球場
- ・袖ヶ浦 百目木公園野球場
- ・袖ヶ浦 百目木公園ソフトボール場
- ・君津 小糸スポーツ広場野球場

《参加チーム》

- ★イーストエンジェルス(東葛)
- ★習八TOMUBOY(八千代・習志野)
- ★東総LADYS(東総)
- ★市川ガールズ(市川)
- ★葛南フラワーズ(葛南)
- ★山武ガールズ(九十九)
- ★柏女子選抜(柏)
- ★なでしこチャーム(北総)
- ★船橋女子選抜(船橋)
- ★やまゆりガールズ(かずさ)
- ★安房ドリームス(安房)
- ★千葉ドリームガールズ(千葉)
- ★オレンジールズ(東葛)

《試合結果》

- 🏆 **優勝 千葉ドリームガールズ** (千葉地域)
- 🏆 **準優勝 船橋女子選抜** (船橋地域)
- 🏆 **第三位 市川ガールズ** (市川地域)
- 🏆 **第三位 柏女子選抜** (柏地域)



★ 千葉ドリームガールズ 主将 高山 晶希 (タカヤマ アキ)

今年はコロナ禍で夏の全国大会がなくなり、とても悲しかったです。私はキャプテンとして、楽しくやる時とまじめにやる時の気持ちの切替えをしっかりとすることを大事にしています。試合がなかなかできない中、秋季大会では素晴らしい成績を残すことができ、とてもうれしかったです。監督や関係者の方々、本当にありがとうございました。中学では今のチームメイトと違うチームに入って戦うかもしれないけど、その時は全力で戦って勝ちたいです。



★ 千葉ドリームガールズ 副主将 大山 晶 (オオヤマ アキラ)

私は、今回の秋季大会で、大切な仲間と共に、「優勝」という頂点に立て、本当に嬉しかったです。新型コロナウイルスの影響で、春季大会が中止。目指していた全国大会出場も果たせず悔しい思いでした。そんな中迎えた秋季大会は、全試合コールドで勝ち取る事ができました。このような素晴らしい成績を収めることができた、千葉ドリームガールズの仲間が大好きです。もっと、この仲間と一緒に活動したかった。だからこそ、この大会での思い・教え・経験を活かし、中学でも野球を続けたいと思っています。



★ 千葉ドリームガールズ 監督 浦上 隆夫

昨年の十二月に2020千葉ドリームガールズの活動がスタートしました。三回ものセレクションの末、選考された二十名。チームの目標は、『春の県大会を勝抜き全国大会で優勝しよう!』。しかし、新型コロナウイルス感染症の為に各大会が中止となり、活動自粛に追い込まれ、選手の現状も解らないままで、監督である自分の心が折れてしまいそうでした。半年後、活動を再開することが出来ました。全国制覇の夢はかないませんが、この大会での『完全優勝』を選手と誓い合い、チームを仕上げていきました。予選、決勝と『完全優勝』が達成できたと思います。最後になりましたが、様々な対策を講じて大会を開催して頂いた関係者の皆様に御礼申し上げます。



★ 船橋女子選抜 主将 樋口 葉南 (ヒグチ ハナ)

私は、4年生の頃から船橋女子選抜に参加して、今年の大大会では初めてキャプテンとして出場しました。今年の大大会では新型コロナウイルスの影響で、なかなかチームで集まったり、練習とかも一緒にできずにいました。けれどもチームの皆が頑張ってくれたおかげで、準優勝という良い成績をおさめることができ良かったです。来年の船橋女子選抜には、今年の経験を生かして、優勝を目指してたくさん活躍し頑張りたいです。また、監督やコーチ、お父さん、お母さん、いつもサポートしてくれてありがとうございました。



★ 船橋女子選抜 推薦者 山田 葉夢 (ヤマダ カノン)

今年は新型コロナウイルスの影響であまりチームの活動が出来ずに大会を迎えました。その中でも一人一人が声をかけあったり、全力を出し切ってプレーすることで準優勝という成績を残すことが出来ました。私個人としては準決勝の三打席連続ランニングホームランは一生の思い出です。この大会を通して、チームメイトと野球が出来た喜びや楽しさを改めて感じました。最後に、大会を開催して下さった関係者の皆様、監督、コーチに感謝致します。本当にありがとうございました。



★ 船橋女子選抜 監督 池内 正明

今年は新型コロナウイルス感染拡大の影響で春季大会が中止になってしまったうえ、集まって練習する機会さえなく、非常に苦しい状況でした。そんな中、秋季大会が開催されることになり、なんとか集まって練習したかったのですが、今度は台風を含む悪天候に見舞われ、結局1日しか練習することができないまま大会を迎えることになりました。残念ながら優勝こそ逃してしまいましたが、たった1日しか練習できなかった状況で、決勝戦まで勝ち残り見事準優勝を勝ち取れたことは十分に胸を張ることができる結果だと思います。